

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

【共通】

直近の決算日: 令和 6 年 3 月 31 日

1. 団体の概要				
団体名	(公財) 長崎ミュージアム振興財団	設立目的、経緯及び根拠法		
設立年月日	平成16年1月17日	【設立目的】博物館及び博物館相当施設(以下、「博物館等」)の管理運営、展覧会事業及び博物館資料等に関する調査研究等を推進することにより、長崎で育まれた文化芸術を継承し、発展させるとともに、独創性のある新たな文化芸術の創造を促進し、もって魅力と活力に満ちた地域づくりに寄与することを目的とする。		
所在地等	〒 850-0862	【経緯】		
	長崎市出島町2番1号	・平成16年4月1日 長崎県美術館指定管理者指定(1期目)		
	Tel 095-833-2110	・平成21年4月1日 長崎県美術館指定管理者指定(2期目)		
	Fax 095-833-2115	・平成27年4月1日 長崎県美術館指定管理者指定(3期目)		
	E-Mail info@nagasaki-museum.jp	・令和3年4月1日 長崎県美術館指定管理者指定(4期目)		
県所管課	文化観光国際 部 文化振興・世界遺産 課	【根拠法】		
資本金・ 基本金等の額 (千円)	主な出資者	出資額(千円)	比率(%)	(公益目的事業)
	長崎県	7,500	100.00	①博物館等における文化芸術の振興のための事業
			0.00	②博物館等における文化芸術の調査研究並びに保管及び修復のための事業
			0.00	③博物館等における文化芸術活動の生涯学習支援及び教育普及のための事業
			0.00	④①～③の事業を行うための博物館等の管理運営
			0.00	⑤その他この法人の目的を達成するために必要な事業
	その他		0.00	(収益目的事業)
	総 額	7,500	100.00	①ショップ及びカフェの運営
ホームページURL	②公益目的事業以外の施設の貸与等の事業			
				③その他公益目的事業の目的を達成するために必要な事業

2. 組織・人員の状況(3月31日現在)												
役員 (名)	区分	R3	R4	R5	プロパー	派遣県職員	兼務県職員	県OB	他自治体	民間	その他	
	常勤	2	2	2	2							
	非常勤	6	6	6							6	
	合 計	8	8	8	2	0	0	0	0	0	6	
職員 (名)	R3	R4	R5	正規職員		派遣	兼務	非正規職員		他自治体	民間	その他
				うち県OB	県職員	県職員	県職員	うち県OB				
	24	26	25	15		2		5			1	2
1人当たり人件費(年度推移)				R3	R4		R5		平均年齢	賞与月数		
常勤役員報酬年額(千円)				0		0		0		歳		
正規職員平均給料月額(千円)				259		244		243		46 歳	4.0 月	
1人当たり人件費(R5、年代別)				20代以下	30代	40代	50代	60代以上				
正規職員平均給料月額(千円)				*	206	235	275	*				
各年代別正規職員数(名)				1	4	4	5	1				
県からの常勤又は非常勤役員	県の役職					団体での役職					区分	
上記役員以外の顧問等												
県派遣又は兼務職員	係長(学芸員)					事業企画グループ 学芸専門監					派遣	
	指導主事					事業企画グループ サブリーダー					派遣	

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

【共通】

2. 組織・人員の状況(3月31日現在)(続き)

組 織 図

評議員会10 名

理事会6 名

監事2 名

事務局

館長1 名※再掲

事務局長1 名

総括マネージャー1 名※再掲

サブマネージャー1 名

経営企画グループ11 名

事業企画グループ10 名

3. 県財政負担の状況(千円)

〈当年度受入額〉		〈当年度末残高〉	
補助金		貸付金残高	
負担金	360,000	損失補償・債務保証残高	
委託料			
貸付金			
損失補償・債務保証額			
出資金			

4. 県の政策との関連性

1 政策目標	
■特色ある文化資源・スポーツによる地域活性化	
県内のどこにいても音楽や美術などの良質な芸術に触れられる機会の提供に取り組む	
2 県との役割分担	
県の役割	団体の役割
長崎県美術館の設立目的を達成するよう、運営の指導監督を行うとともに、運営に必要な負担金の支弁やその支出状況の検査及び施設の(大規模)修繕等を行う。	美術資料の保存・修復、展覧会の企画・運営、生涯学習・教育普及事業の実施により、設置目的である地域の活性化及び芸術文化活動の拠点として、優れた美術作品の鑑賞及び学習の機会を提供するとともに、創作活動及び作品発表等の支援を通じて、生涯学習に対応した文化的環境の整備を図る。
団体に委ねる理由	説明
○ 県が直接実施するよりも効果的・効率的に事業実施可能	指定管理者が運営主体となることにより、スピード感のある運営が可能となり、県民ニーズの的確な把握から、それらの運営方針への迅速な反映が可能となる。
県が直接実施することが困難	また、魅力的な企画展の開催のためには、展示計画の構築(マスコミや民間企業とタイアップや展示資料の借用交渉など)に複数年を要するため、指定管理者が主体となる事が望ましい。
その他	

3 事業実施状況

事業名	事業概要	事業費(千円)	主な実績	事業の評価、今後の方向性
1 企画展事業	年間6本の企画展を開催	72,294	入館者数 111,187人 (計画比: 120.5%)	「浪漫の光―永見篤太郎と長崎の近代」をはじめとする調査研究型の展覧会を開催する一方で、幅広い層に楽しんでもらえる「トムとジェリー展」の実施など多彩で魅力的な展覧会を開催することで県民の文化振興と県外客の誘致を図り、目標以上の入館者を達成した。
2 コレクション展事業	所蔵品を中心に複数の小企画展を開催	8,420	入館者数 38,702人 (計画比: 107.5%)	調査研究に基づく展覧会を精力的に開催するほか「世界遺産5周年記念展」や「新収蔵品展」など、収蔵品でありながらも企画性の高い展覧会に取り組む一方で須磨コレクション、スペイン近代美術など、常設展ではおなじみの展覧会にも工夫を施し収蔵品の新たな価値の発信を図り、目標以上の入館者を達成した。
3 教育普及事業	遠隔地での移動美術館や子どもむけワークショップ、学校向け鑑賞事業等を開催	5,044	スクールプログラム参加者8,864人 (計画比:110.8%)	スクールプログラムでは関係者との協議を密に行い、目標以上の参加者を確保したほか、遠隔授業の実施や授業プログラムと鑑賞プログラムを連携させたプラットフォームである「PEACE」の実装など、芸術文化に触れる機会の提供の場を拡大することができた。

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

【共通】

5. 中期経営計画等の進捗状況・事業目標の達成状況										◎ 達成	○ 一部達成	× 未達成	— 未実施
中期計画	No.	項目名	R5 実績	計画上の目標値					最終年度 (R8)	達成状況			
			R4	R5	R6	R7	R8						
	①	総入館者数	297,477.0	360,000.0	380,000.0	380,000.0	380,000.0	380,000.0	380,000.0	×			
		(目標値設定の根拠・考え方)											
		平成17～30年度の総入館者数の平均(約398,000人)を踏まえ、設定											
		(翌年度に向けての改善事項等)											
		新型コロナウイルスによる行動制限の解除や長崎駅周辺の再開発などの社会情勢の変化を捉えとともに、調査研究型の展覧会と幅広い年代にアピールできる展覧会をバランスよく配し、県内の文化振興及び県内外客の来館を促進する。											
	No.	項目名	R5 実績	計画上の目標値					最終年度 (R)	達成状況			
	②	教育普及・生涯学習支援業務	-	-	-	-	-	-	-	-			
		(目標値設定の根拠・考え方)											
	(翌年度に向けての改善事項等)												
	学校との連携事業であるスクールプログラムの実施、移動美術館や遠隔授業の実施、企画展に関連したワークショップの開催など、幅広い年齢層へ学習の機会を提供するとともに、授業プログラムと美術鑑賞プログラムを連携させたプラットフォームである「PEACE」を実装させ、より身近に芸術文化に触れることのできる環境整備を行う。												
事業目標	No.	項目名	R3	R4	R5	備考							
	①	総入館者数(人)	(計画) 345,000	250,000	270,000	H22実績(約35万人)を基準値として、開館20周年のR7年度をピークに各年度目標達成を目指す。							
			(実績) 172,980	212,367	297,477								
	②	来場者満足度(5段階)	(計画) 4.0	4.0	4.0	アンケート5段階評価における年間平均において、4.0以上の満足度を目指す。							
			(実績) 4.4	4.3	4.4								
	③	県民ギャラリー稼働率(%)	(計画) 90	90	90	90%以上の稼働率を目指す。							
			(実績) 69	93	93								
	(県が期待する効果の実現)												
	評価結果			評価理由									
	○	十分実現している	・令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、社会経済活動が拡大するなか、美術館においても環境変化を捉え、長崎県美術館の特色を活かした展覧会と集客力のある展覧会をバランスよく実施することで来館者満足度は88%と目標の80%を上回り、来館者においても29万7千人と計画値の27万人を上回った。										
	概ね実現しているが未実現の部分がある	・生涯学習・教育普及事業では、学校との連携事業であるスクールプログラムの実施、移動美術館や遠隔授業の実施、企画展に関連したワークショップの開催など、幅広い年齢層へ学習の機会を提供するとともに、授業プログラムと美術鑑賞プログラムを連携させたプラットフォームである「PEACE」を実装させ、より身近に芸術文化に触れることのできる環境整備を行った。											
	実現できていない	・県民ギャラリーの稼働率は93%と目標の90%を上回った。県民ギャラリー等の利用者数は、147,890人と全入館者の約50%を占めており、県民の文化活動の場として広く活用されている。											
(計画達成状況の判定)													
判定項目			評価基準						点数				
①	中期経営計画の策定	[2点]中期経営計画(計画期間3年以上)を策定している						2					
②	中期経営計画の目標達成	[1点]目標を1項目達成 [2点]2項目以上達成						-					
③	事業目標の達成	[1点]事業目標を1項目達成 [2点]2項目以上達成						2					
④	県が期待する効果の実現	[1点]効果を概ね実現している [2点]十分実現している						2					
合計									6				

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

【公益法人会計基準適用法人用】

直近の決算日: 令和 6 年 3 月 31 日

6. 財務の状況 (単位: 千円、%)

項 目	R3		R4		R5	
	金額	対前年度比	金額	対前年度比	金額	対前年度比
【貸借対照表】						
流動資産	70,176	79.53	100,219	142.81	105,972	105.74
うち金銭債権額	58,992	77.36	90,374	153.20	96,719	107.02
固定資産	38,298	134.46	46,711	121.97	49,403	105.76
基本財産	7,500	100.00	7,500	100.00	7,500	100.00
特定資産	30,798	146.78	39,211	127.32	41,903	106.87
その他固定資産	0	-	0	-	0	-
資産合計(A)	108,474	92.93	146,930	135.45	155,375	105.75
流動負債	56,550	70.15	86,994	153.84	79,175	91.01
うち短期借入金	10,000	-	10,000	100.00	0	0.00
固定負債	14,798	98.77	17,211	116.31	15,697	91.20
うち長期借入金	0	-	0	-	0	-
うち退職給付引当金	14,798	98.77	17,211	116.31	15,697	91.20
負債合計	71,348	74.63	104,205	146.05	94,872	91.04
指定正味財産	7,500	100.00	7,500	100.00	7,500	100.00
一般正味財産	29,626	217.45	35,225	118.90	53,002	150.47
正味財産合計(B)	37,126	175.75	42,725	115.08	60,502	141.61
団体債務保証額	0	-	0	-	0	-
【正味財産増減計算書】						
経常収益(C)	475,543	105.23	508,892	107.01	512,741	100.76
うち受託事業収入	0	-	0	-	0	-
うち補助金収入	2,942	-	4,148	140.99	3,735	90.04
うち基本財産等運用益収入	1	33.33	1	100.00	1	100.00
うち自己収入(D)	114,230	122.14	133,975	117.29	149,005	111.22
うち県財政支出額(E)	358,369	100.00	370,768	103.46	360,000	97.10
経常費用	458,850	105.00	502,554	109.52	493,792	98.26
事業費	448,756	105.17	490,657	109.34	482,632	98.36
うち人件費(F)	170,997	100.48	173,848	101.67	183,730	105.68
管理費(G)	9,971	98.79	11,818	118.52	11,092	93.86
うち人件費(H)	7,420	102.02	8,881	119.69	8,216	92.51
当期経常増減額(I)	16,693	111.93	6,338	37.97	18,949	298.97
経常外損益	-692	191.69	-739	106.79	-1,171	158.46
当期一般正味財産増減額(J)	16,001	109.95	5,599	34.99	17,778	317.52
当期指定正味財産増減額(K)	0	-	0	-	-	-
(会計方針の変更による影響額)	0	-	0	-	-	-
【収支計算書等】						
当期収入	475,543	105.23	508,892	107.01	512,741	100.76
当期支出	458,850	105.00	502,554	109.52	493,792	98.26
当期収支差額(L)	16,693	111.93	6,338	37.97	18,949	298.97
次期繰越収支差額(M)	37,125	175.75	42,725	115.08	60,502	141.61
【会計単位別】						
	経常収益	経常費用	当期経常損益	当期収入	当期支出	当期収支差額
一般会計	11,092	11,092	0	11,092	11,092	0
特別会計	501,649	482,700	18,949	501,649	482,700	18,949
合 計	512,741	493,792	18,949	512,741	493,792	18,949

各財務数値の増減理由及び各種引当金の設定状況等

物価高騰に伴う、運営経費の上昇圧力がある中でも経費削減を図り、魅力ある企画展、常設展の開催による観覧料増、ショップ・カフェの収益確保を図った結果、年間収支は黒字を計上した。

各種引当金の設定状況等は下記のとおり。(単位: 千円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当預金	7,500	0	0	7,500
特定資産				
退職給付引当資産	17,211	691	0	17,902

(財務状況の判定)

判定項目	R3	R4		R5			点数
	数値・比率	数値・比率	対前年度比	数値・比率	対前年度比	対前々年度比	
① 当期経常増減率率(I/C)	3.51	1.25	35.48	3.70	296.73	105.28	0.0
② 当期一般正味財産増減率率(J/C)	3.36	1.10	32.70	3.47	315.14	103.05	0.0
③ 当期指定正味財産増減額(K)	0	0		0			0.0
④ 正味財産比率(B/A)	34.23	29.08	84.96	38.94	133.91	113.77	0.0
⑤ 次期繰越収支差額(M)	37,125	42,725	115.08	60,502	141.61	162.97	0.0
⑥ 県財政支出率(E/C)	75.36	72.86	96.68	70.21	96.37	93.17	0.0
⑦ 自己収入比率(D/C)	24.02	26.33	109.60	29.06	110.38	120.98	0.0
⑧ 管理費比率(G/C)	2.10	2.32	110.76	2.16	93.15	103.17	0.0
合計							0.0

※判定項目ごとに評価基準に基づき採点

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

【共通】

7. 経営内容及び事業活動についての総合判定

(団体の自己評価)

「計画達成状況」「財務状況」の合計点数	6.0	➡	総合判定	A
---------------------	-----	---	------	---

5点以上:A

概ね良好

－5点以上～5点未満:B

改善の余地あり

－5点未満:C

一層の努力が必要

※事業活動・経営の努力・今後の課題及び改善事項等

・スペイン美術を標榜する美術館として、ヨーロッパの近現代美術を本格的に紹介する大型企画展や、長崎スタジアムシティの開業による県外からの観光客にも足を運んでもらえるような魅力的な展覧会を開催し、優れた美術作品の鑑賞機会の提供や交流人口の拡大に寄与するとともに、オンライン等も駆使し、子どもから大人まで、県内どこにいても良質な文化芸術に触れることのできる機会を提供していく。

・建設から約20年が経過し、施設の劣化に伴う不具合が頻発しており、維持管理費の増加が予想されるため、引き続き光熱水費や事務経費の削減に努めるとともに、予防保全型維持管理を前提として毎日の点検及び早期の修繕に取組み、建物や設備機器の長寿命化を図る。

・県民ギャラリーを中心とした施設貸出業務は、県民の文化活動の場として広く活用されるよう、引き続き県民の積極的な利用推進を図る。

・指定管理者の経営基盤の更なる安定化のため、引き続き運営費等の縮減に取り組むとともに、積極的な広報・販促活動の実施により収入の確保に努める。

・ショップ事業では展覧会毎のイメージや客層に合せた商品ラインナップの充実強化を図るとともに、SNS等を活用した積極的な情報発信を行い、来館者の購買率向上に繋げ、カフェ事業ではコスト削減に取組みながら来館者のニーズに合ったテイクアウト可能な食事やスイーツメニューの提供、展覧会に合わせた商品開発を行うことで収支改善を図る。

(県の評価)

合計点数	6.0	※評価の内容、県評価での加点・減点、総合判定の理由
		(加点・減点を行う場合は、点数及び理由を具体的に記載ください。)
総合判定	A	・来館者数、来館者満足度、県民ギャラリー稼働率の目標達成
		・魅力ある企画展、コレクション展の企画とこれらの確実な実施による来館者確保やショップ、カフェ事業の経営改善による年間収支の改善

(今後の県の関与の方針)

長崎県美術館の指定管理者として、令和3年4月1日から6年間、当財団を指定している。(第4期目)
 今後も引き続き適正な指定管理業務が行われるよう指導監督を行っていくとともに、指定管理者管理運営負担金の支出や計画的な施設改修の実施により、長崎県美術館の円滑な運営を図る。